

# 平成17年基準 消費者物価指数（大津市）

平成18年度（2006年度）平均

平成18年7月分の公表より「平成17年基準指数」に改定されましたので、平成18年度（2006年度）平均についても、新基準での公表となっています。

## 概況

大津市の平成18年度平均の消費者物価指数は、平成17年度を100とした総合指数で100.4となり、前年度と比べると0.4%上昇しました。

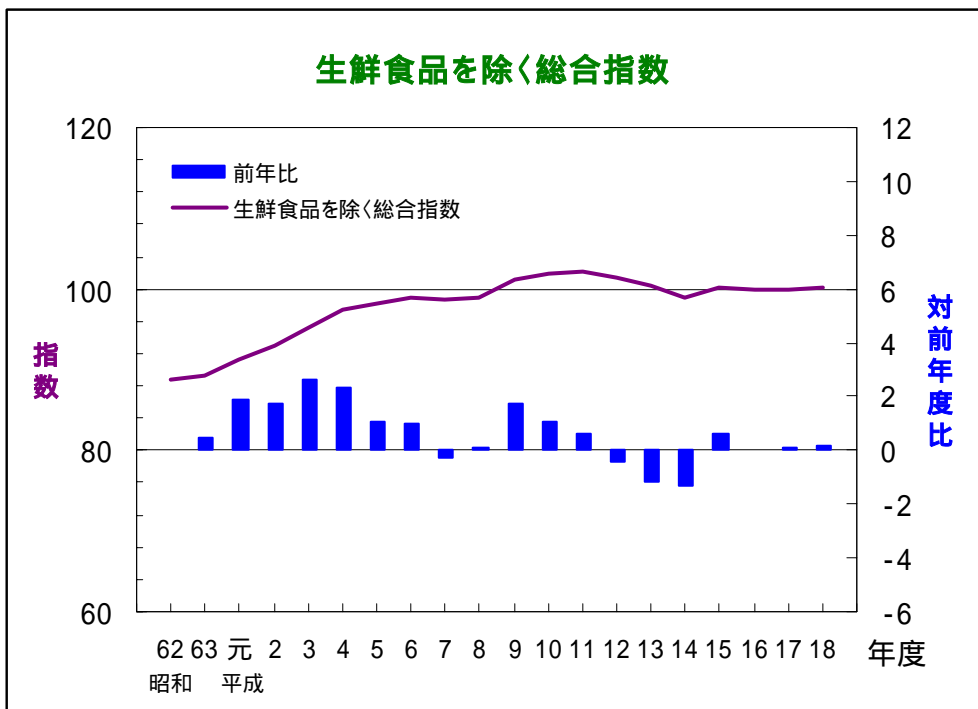
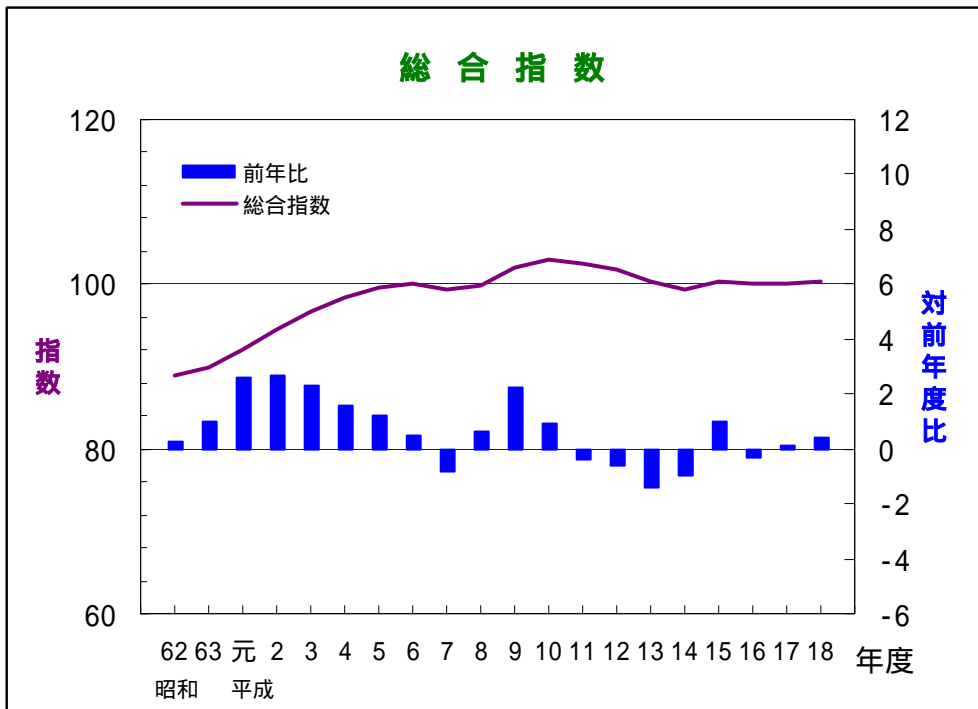
生鮮食品を除く総合指数も100.2となり、前年と比べると0.2%上昇しました。

## 近年の総合指数の動き

近年の消費者物価の動向をつかむため、ここ数年の総合指数の対前年度上昇率をみると、平成13年度は、住居や食料が値下がりしたことなどにより1.4%下落しました。平成14年度は、住居や教養娯楽が値下がりしたことなどにより1.0%下落し、生鮮食品を除く総合指数についても1.3%下落しました。この時期は、対前年度比較が可能な昭和46年度以降初めて総合指数が4年度連続下落し、生鮮食品を除く総合指数についても、3年度連続下落となりました。

その後、平成15年度には一転して、家賃の値上がりなどにより、総合指数は1.0%、生鮮食品を除く総合指数は0.6%と、それぞれ上昇しました。しかし、平成16年度に家具・家事用品が値下がりしたことなどにより、再び下落に転じ、総合指数は0.3%の下落（生鮮食品を除く総合指数は変動なし）となりました。平成17年度は、交通・通信、被服および履物などが値上がりしたことにより、総合指数については0.1%上昇し、生鮮食品を除く総合指数についても0.1%上昇しました。

平成18年度は、食料や光熱・水道などが値上がりしたことにより、総合指数については、0.4%上昇し、生鮮食品を除く総合指数については0.2%上昇しました。



## 費目別指数の主な動き

### 食料

食料は100.8で、外食が2.2%、生鮮魚介が6.9%上昇したことなどにより、前年度平均に比べて0.9%上昇しました。

### 住居

住居は100.3で、設備修繕・維持が1.4%上昇したことなどにより、前年度平均に比べて0.2%上昇しました。

## 光熱・水道

光熱・水道は101.9で、ガス代が5.4%上昇したことなどにより、前年度平均に比べて1.7%上昇しました。

## 家具・家事用品

家具・家事用品は98.4で、家庭用耐久財が3.2%下落したことなどにより、前年度平均に比べて1.0%下落しました。

## 被服および履物

被服および履物は99.7で、シャツ・セーター類が4.3%下落したことなどにより、前年度平均に比べて0.3%下落しました。

## 保健医療

保健医療は99.6で、保健医療サービスが0.5%下落したことなどにより、前年度平均に比べて0.4%下落しました。

## 交通・通信

交通・通信は100.7で、自動車等関係費が1.9%上昇したことなどにより、前年度平均に比べて0.5%上昇しました。

## 教育

教育は101.6で、授業料等が1.3%上昇したことなどにより、前年度平均に比べて1.2%上昇しました。

## 教養娯楽

教養娯楽は98.3で、教養娯楽用耐久財が14.5%下落したことなどにより、前年度平均に比べて1.1%下落しました。

## 諸雑費

諸雑費は100.9で、たばこが6.8%上昇したことなどにより、前年度平均に比べて0.6%上昇しました。

平成17年=100

		総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服および履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品	生鮮食品を除く総合
指数	平成17年度	100.0	99.9	100.1	100.2	99.4	100.0	100.0	100.2	100.4	99.4	100.3	99.7	100.0
	平成18年度	100.4	100.8	100.3	101.9	98.4	99.7	99.6	100.7	101.6	98.3	100.9	105.2	100.2
前年度比(%)	平成18年度	0.4	0.9	0.2	1.7	-1.0	-0.3	-0.4	0.5	1.2	-1.1	0.6	5.5	0.2